

2017/3期 決算説明会

株式
会社 **フォーバル**

(コード番号 8275)

2017.5.22

2017/3期連結決算概要

営業利益・経常利益は9期連続増益
(赤字幅縮小を含めると10期連続で利益改善)

親会社株主に帰属する当期純利益は6期連続増益

親会社株主に帰属する当期純利益は
3期連続で過去最高益を更新

実質5期連続増配

	2017/3			2016/3	2017/3
	実績	前期比	期初予想比	実績	期初予想
売上高	50,262	△145 【△0.3%】	△2,237 【△4.3%】	50,408	52,500

単位：百万円

総務省の「スマートフォンの端末購入補助の適正化に関するガイドライン」を受けた実質0円販売禁止の影響による販売減少

太陽光発電の買い取り価格の低下に伴いマーケットが縮小

FORVAL 連結決算概要（売上総利益・販管費・営業利益）

	2017/3				2016/3		2017/3	
	実績	売上比	前期比	期初予想比	実績	売上比	期初予想	売上比
売上総利益	15,987	31.8%	1,374 【9.4%】		14,613	29.0%		
販管費	13,441	26.7%	1,207 【9.9%】		12,233	24.3%		
営業利益	2,545	5.1%	166 【7.0%】	95 【3.9%】	2,379	4.7%	2,450	4.7%

単位：百万円

FORVAL 連結決算概要（販売費及び一般管理費）

前期比9.9%増



販売費

前期比 34【7.3%】

荷造費、広告宣伝費等の増加

人件費

前期比 624【7.6%】

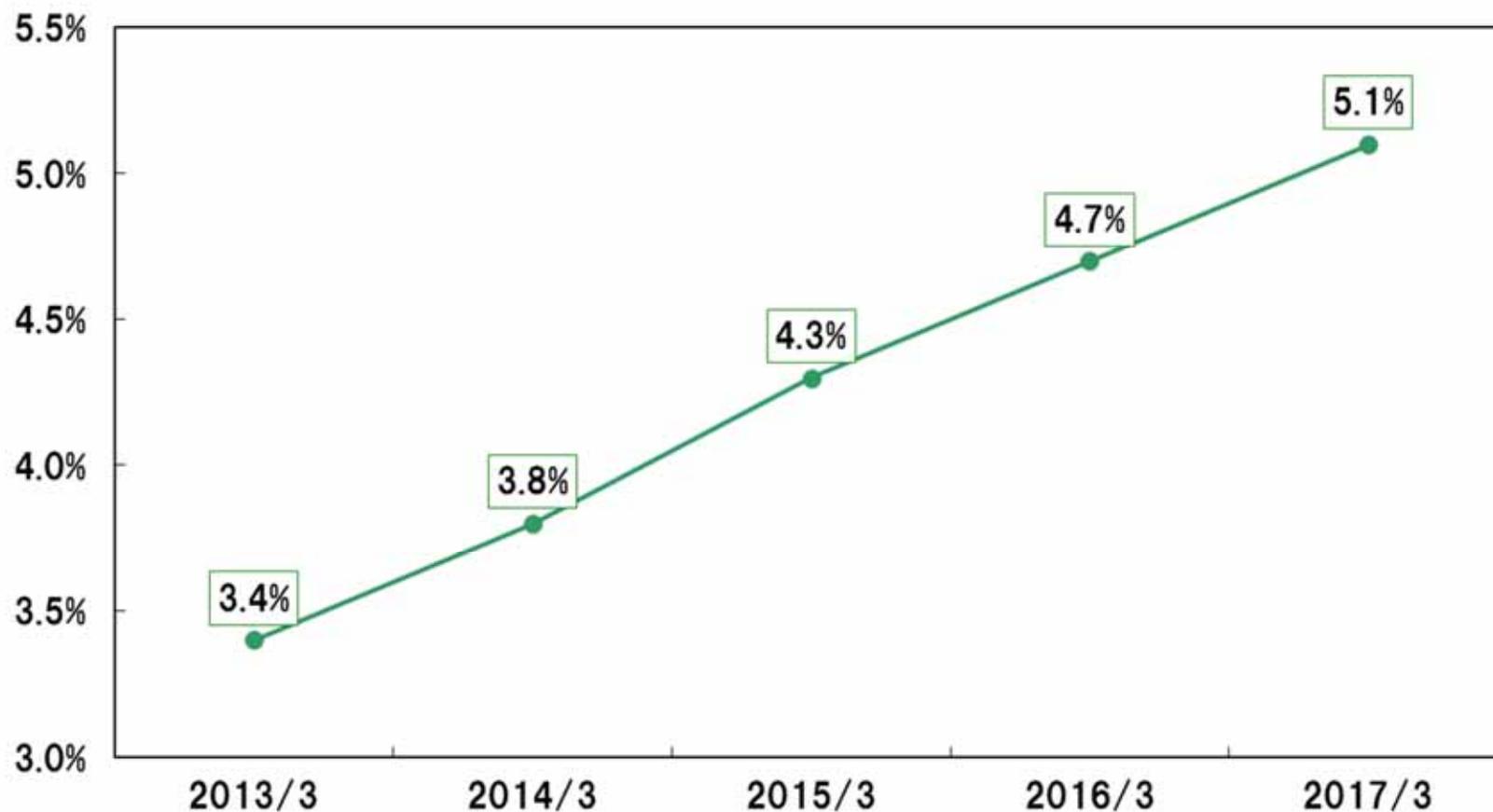
既存社員に対する配分の増加
社員の増加【前期比73名増加(臨時を含む)】

経費

前期比 548【15.4%】

支払販売コミッション等の増加

単位：百万円

前期比0.4ポイント上昇**アイコン事業の拡大／環境事業の利益率改善**

FORVAL 連結決算概要（営業外収益・営業外費用・経常利益）

	2017/3				2016/3		2017/3	
	実績	売上比	前期比	期初予想比	実績	売上比	期初予想	売上比
営業外収益	213		55 【35.2%】		158			

助成金収入が前期比63百万円【843.4%】増加

営業外費用	143		△62 【△30.3%】		206			
-------	-----	--	-----------------	--	-----	--	--	--

持分法による投資損失が前期比56百万円【57.3%】減少

経常利益	2,615	5.2%	284 【12.2%】	165 【6.8%】	2,331	4.6%	2,450	4.7%
------	-------	------	----------------	---------------	-------	------	-------	------

単位：百万円

	2017/3				2016/3		2017/3	
	実績	売上比	前期比	期初予想比	実績	売上比	期初予想	売上比
特別利益	5		△239 【△97.7%】		245			

投資有価証券売却益が前期比239百万円【97.7%】減少

特別損失	10		△21 【△68.1%】		32			
------	----	--	-----------------	--	----	--	--	--

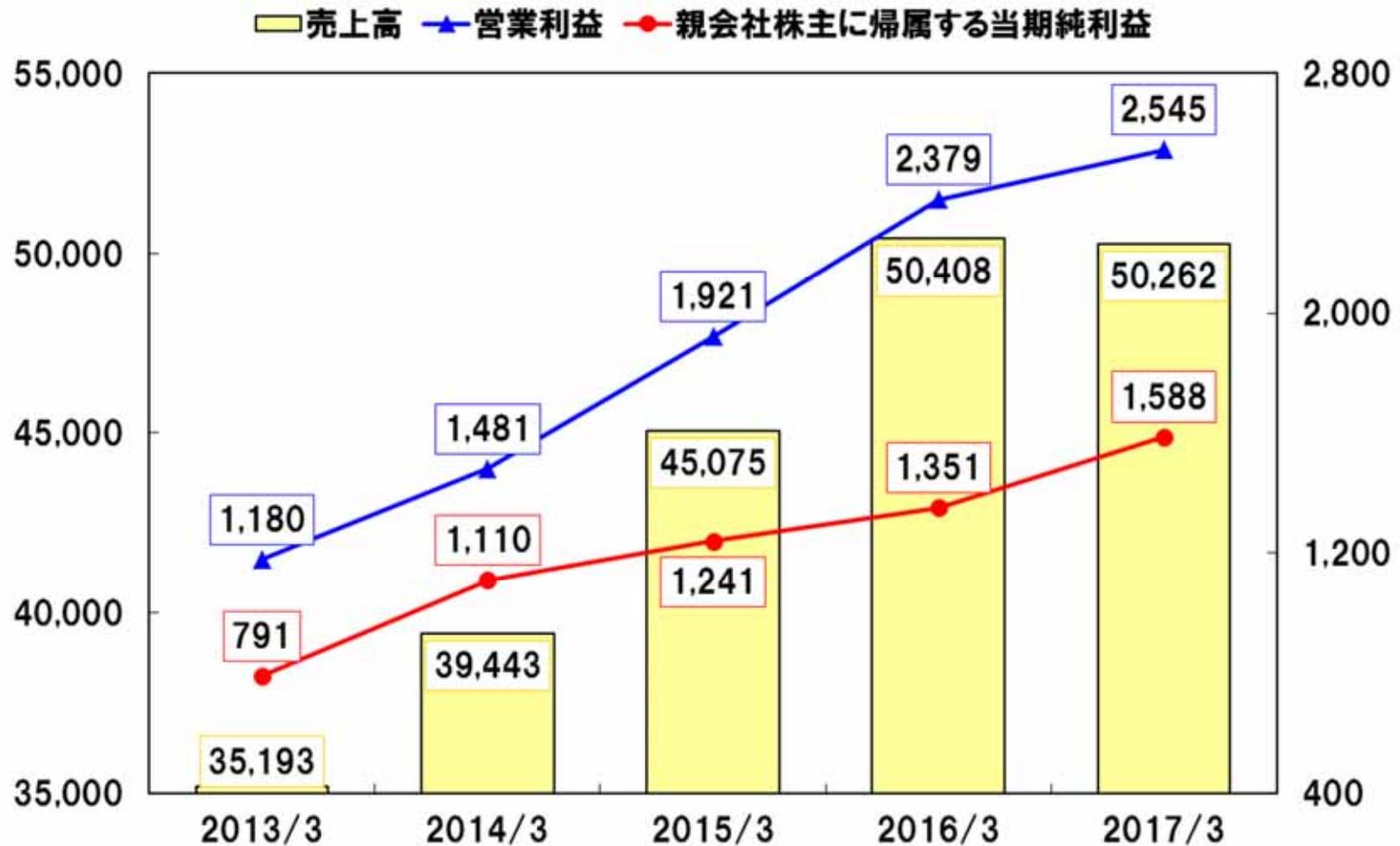
固定資産除売却損が前期比18百万円【96.8%】減少

親会社株主に帰属する当期純利益	1,588	3.2%	237 【17.5%】	188 【13.5%】	1,351	2.7%	1,400	2.7%
-----------------	-------	------	----------------	----------------	-------	------	-------	------

**特別利益がほとんど無い中で、
親会社株主に帰属する当期純利益は前期比大幅増**

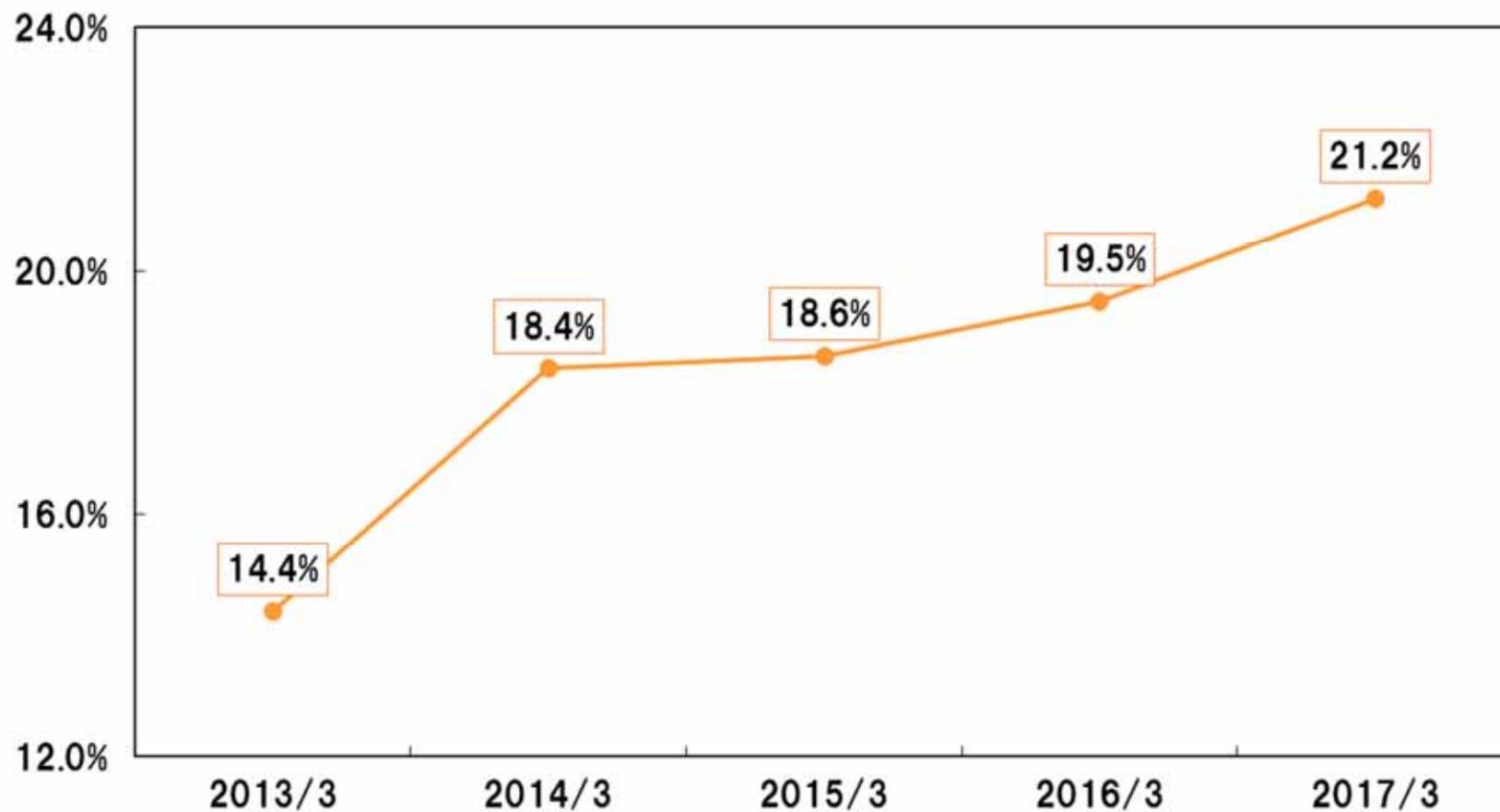
単位：百万円

付加価値ストック型の増益構造に転換

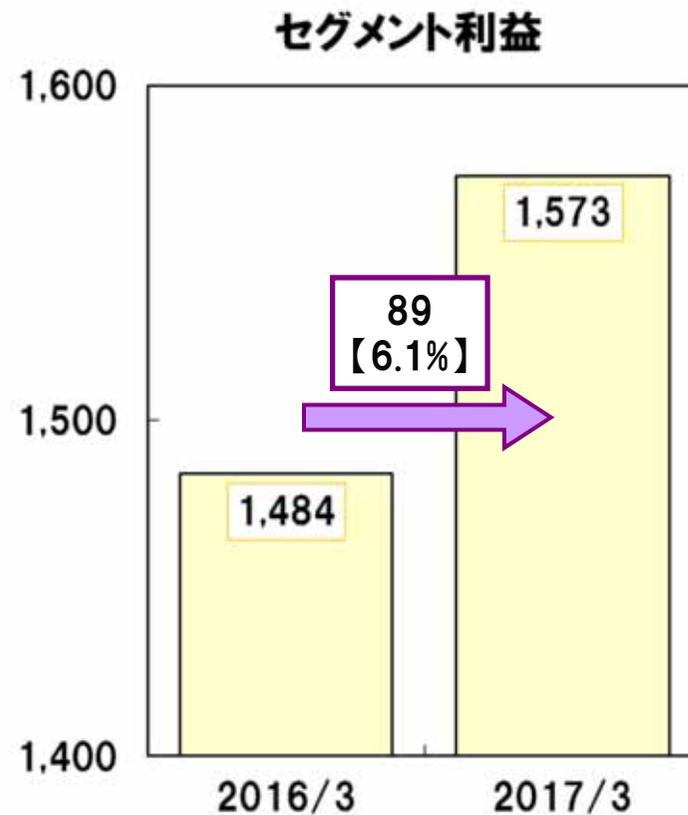
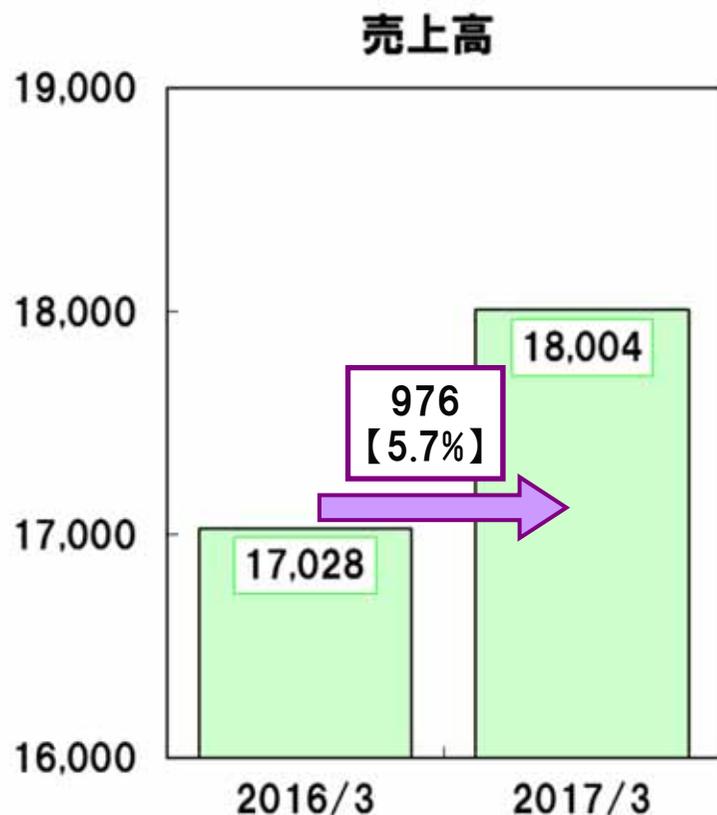


単位:百万円

前期比1.7ポイント上昇



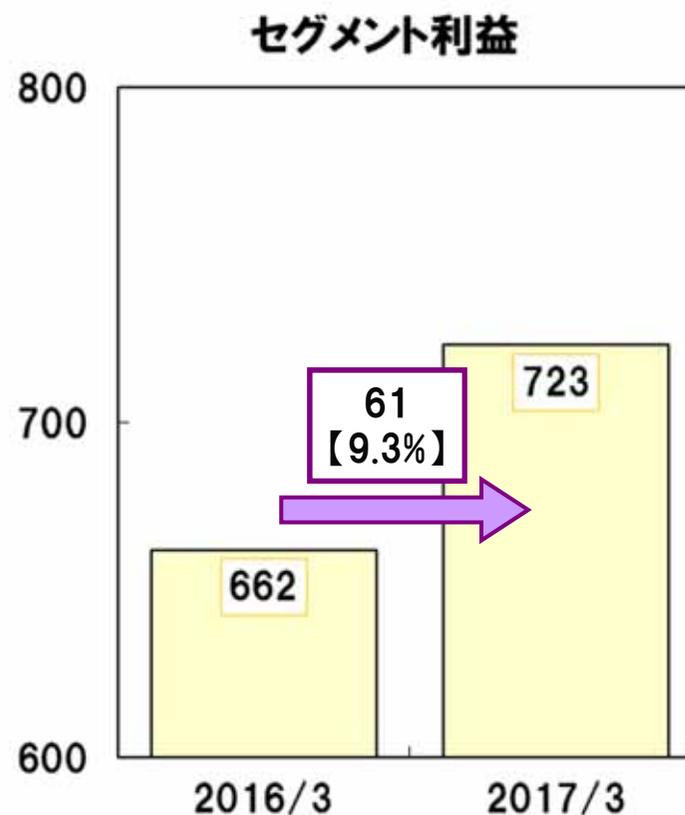
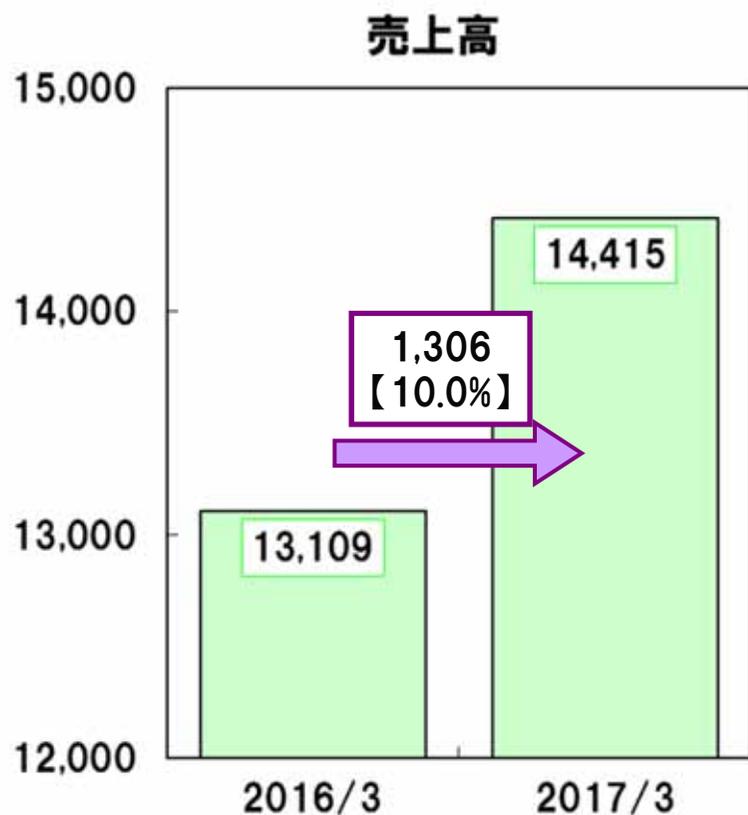
フォーバルビジネスグループ



**アイコンサービスが順調に拡大
フォーメーションの変更による営業効率のアップ**

単位:百万円

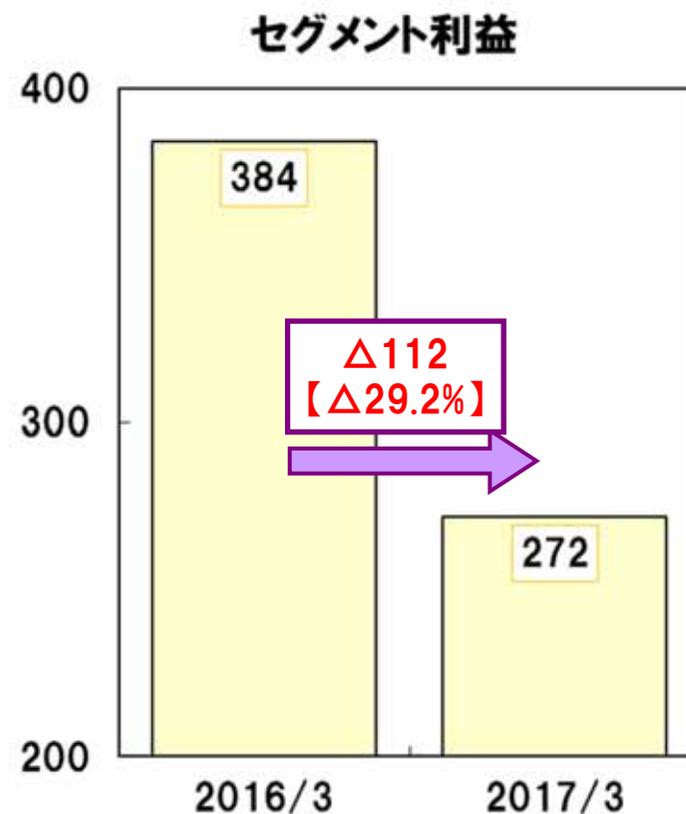
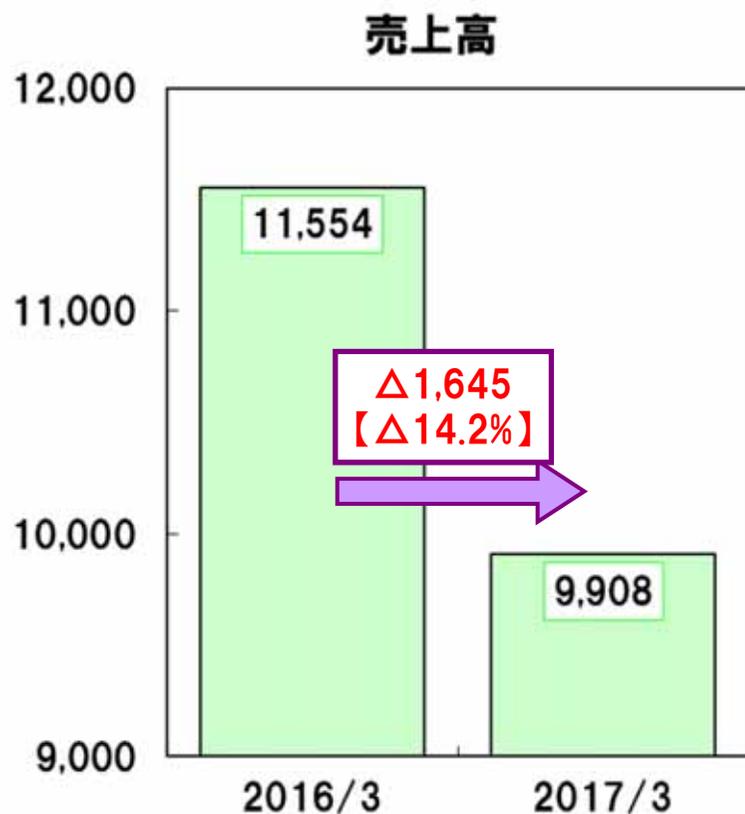
フォーバルテレコムビジネスグループ



単位:百万円

ビリングサービスの充実による顧客増

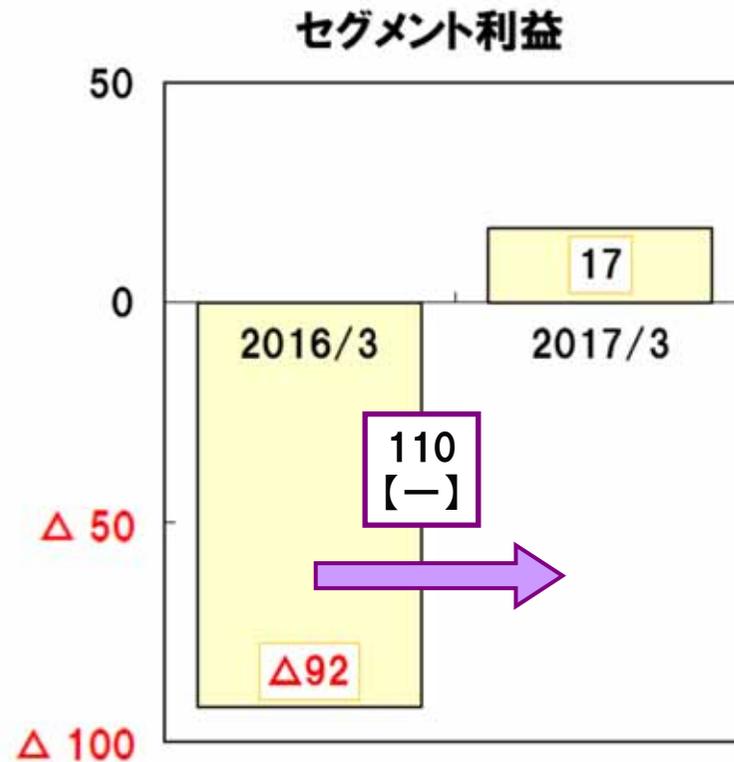
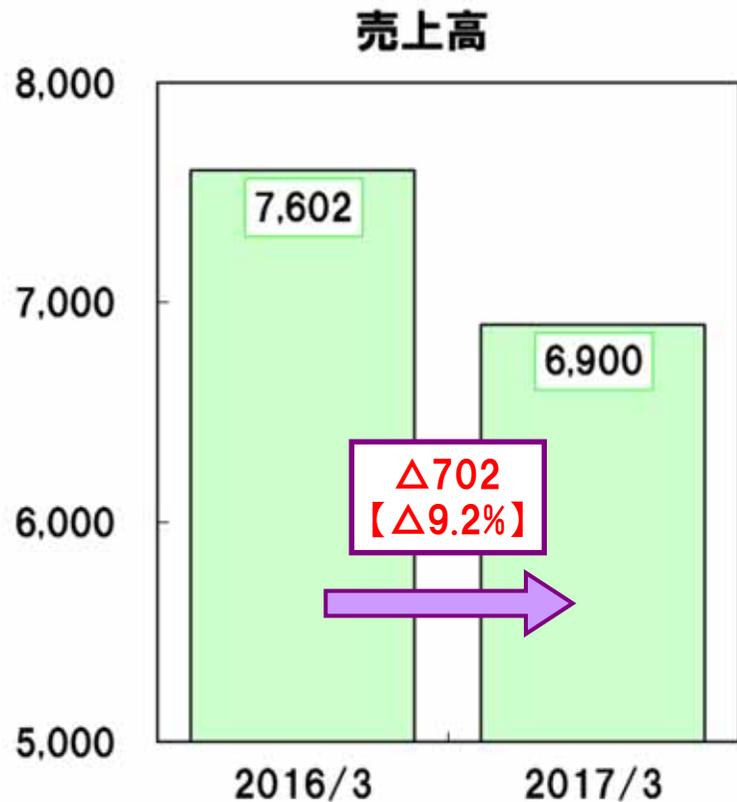
モバイルショップビジネスグループ



単位:百万円

実質0円販売禁止の影響で携帯販売台数は前期比5.0%減

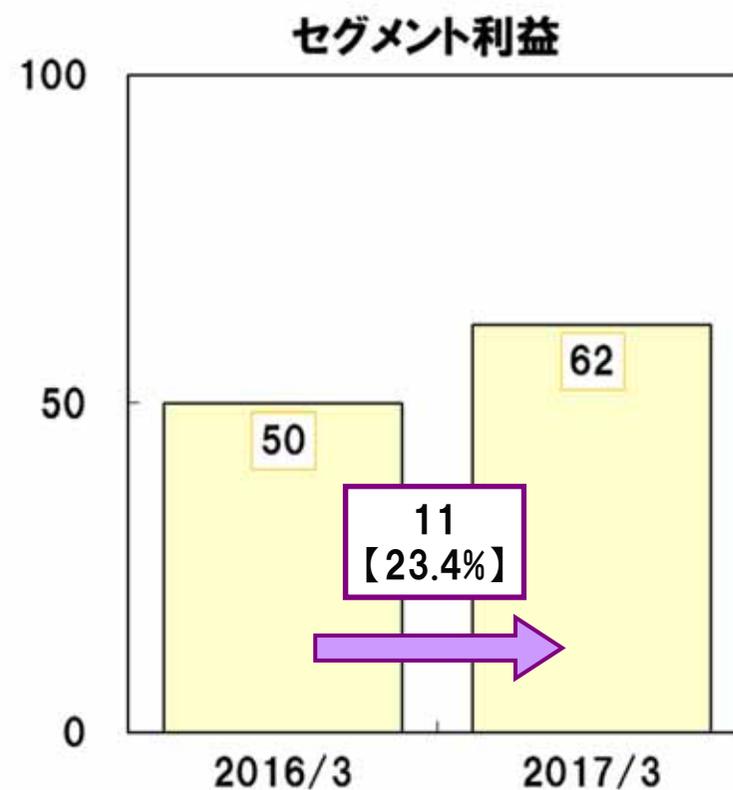
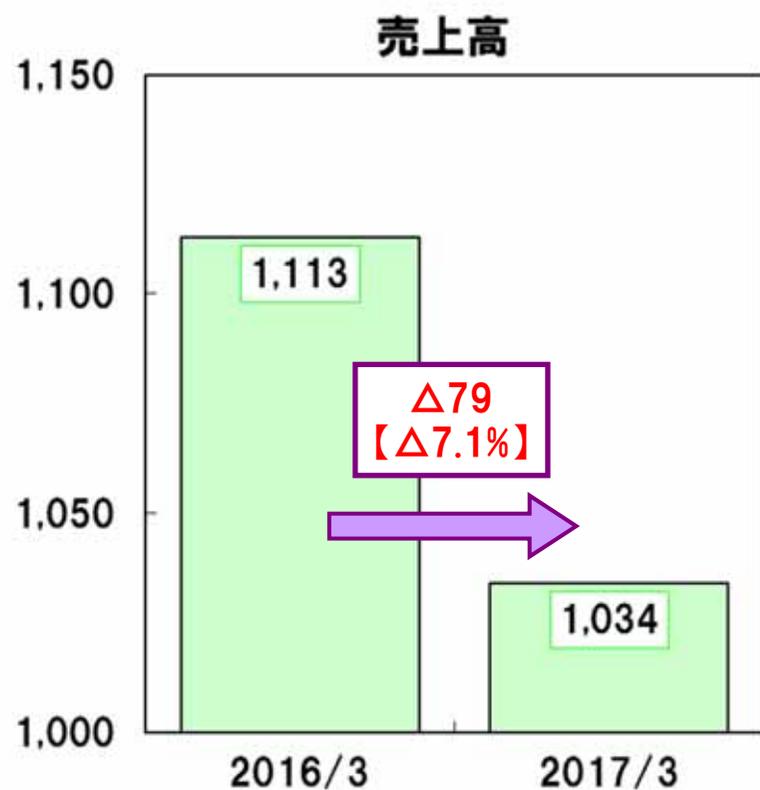
総合環境コンサルティングビジネスグループ



単位：百万円

産業用システムが減少
高付加価値の発電効率が高いシステムの販売が増えたことで利益率が改善

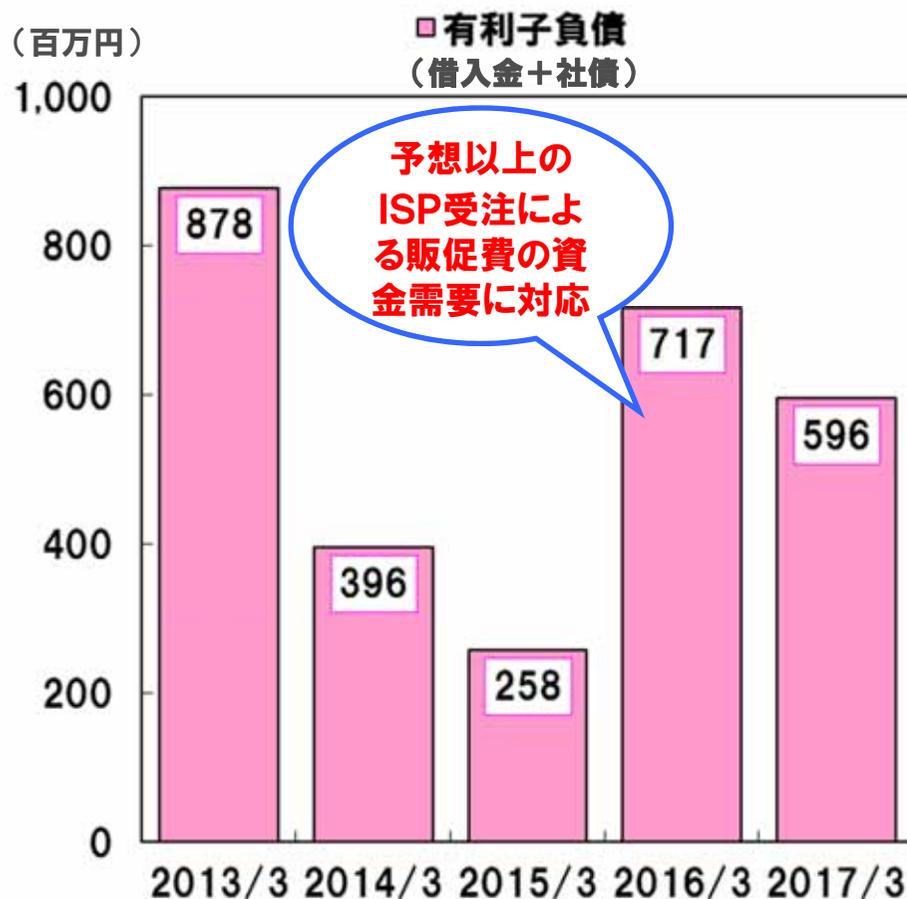
その他事業グループ（人材・教育コンサルティング）



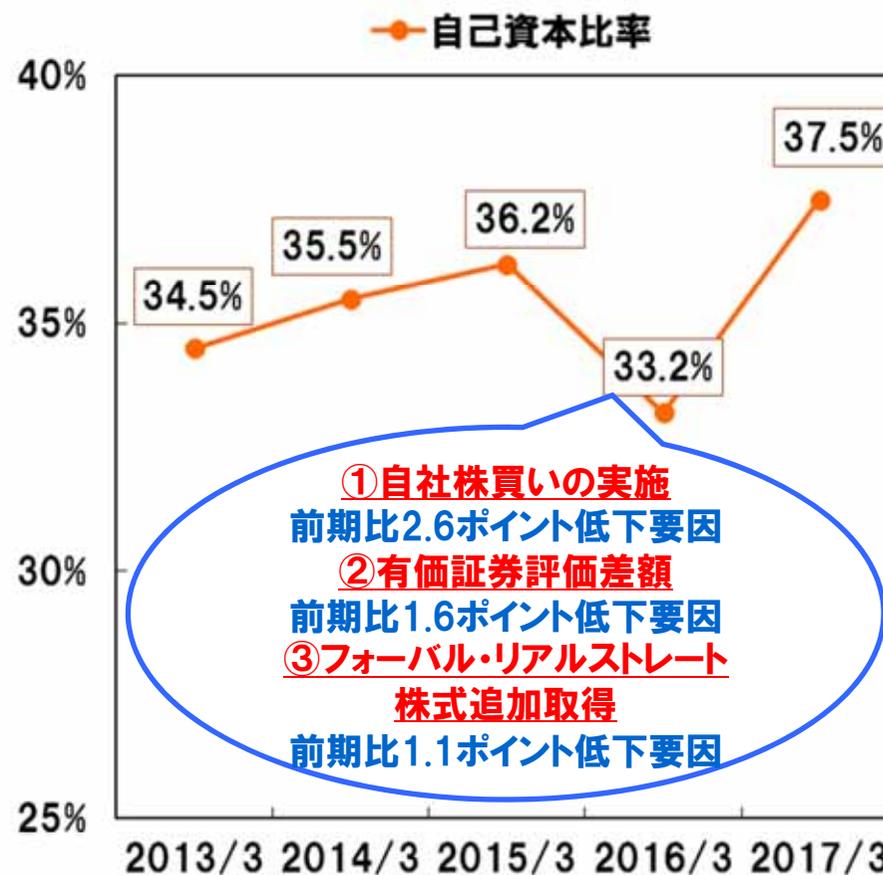
単位：百万円

**IT教育サービス事業関連の子会社の売上高が減少
原価率改善により利益は増加**

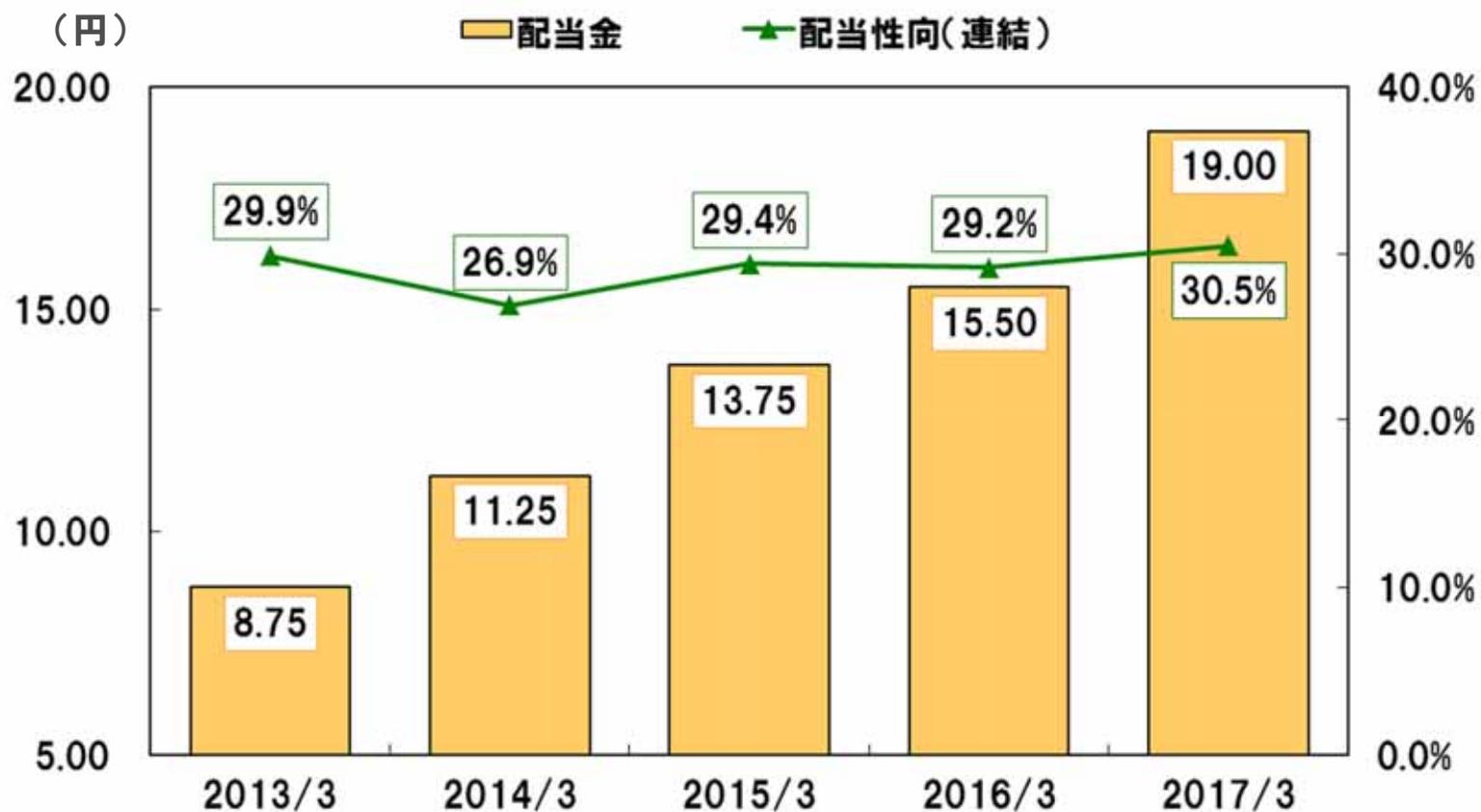
前期比16.8%減



前期比4.3ポイント上昇



実質5期連続増配



2015年9月1日付 株式分割 1株⇒2株

※ 配当金は株式分割後の値に換算

2018/3期連結業績見通し

FORVAL 2018/3期連結業績見通し

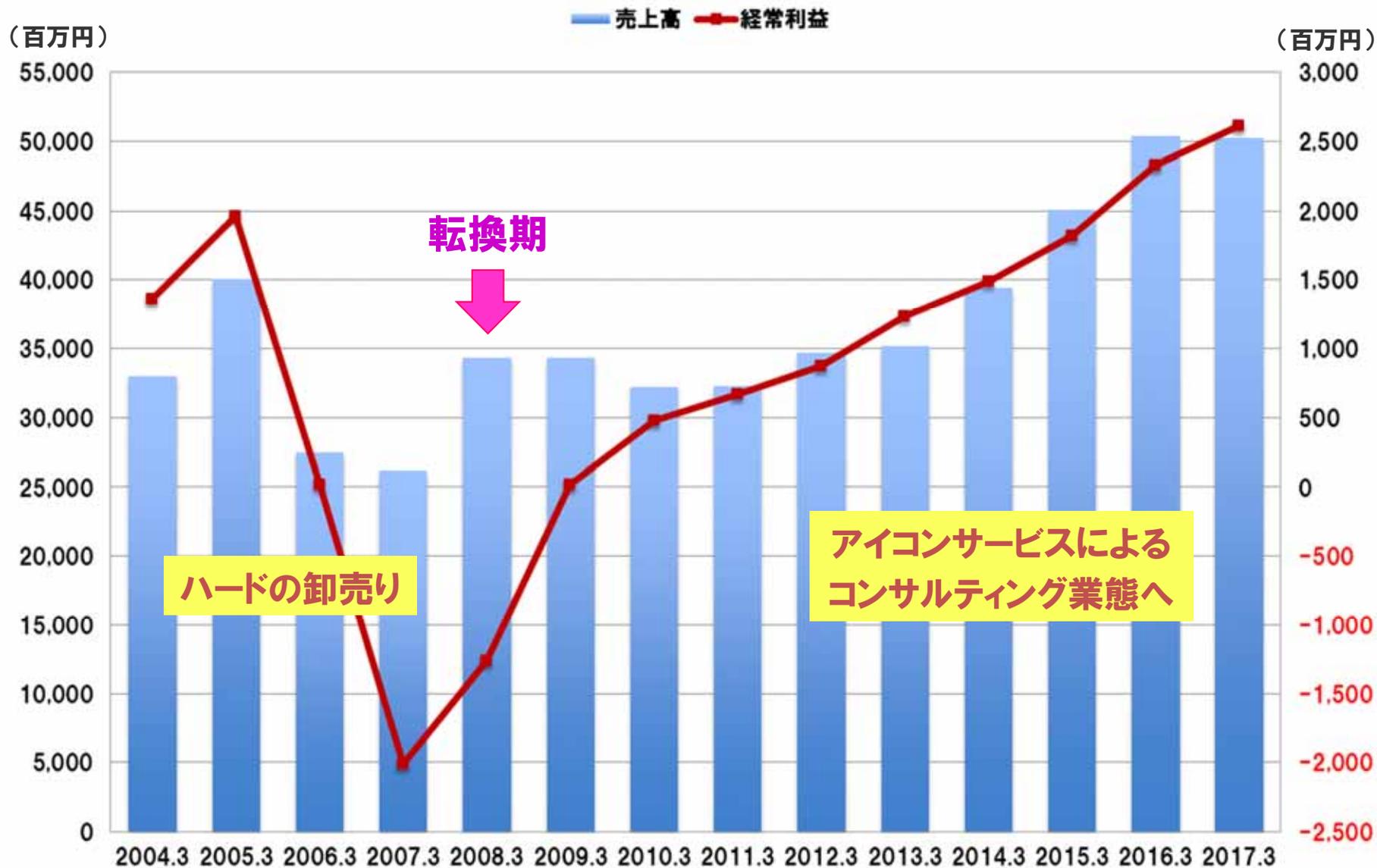
	2018/3期予想			2017/3期	
	予想	売上比	前期比	実績	売上比
売上高	52,000	100.0%	1,737 【3.5%】	50,262	100.0%
営業利益	2,800	5.4%	254 【10.0%】	2,545	5.1%
経常利益	2,800	5.4%	184 【7.0%】	2,615	5.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,700	3.3%	111 【7.0%】	1,588	3.2%
1株当たり 当期純利益	66.68			62.32	
配当金	20.00			19.00	

単位：百万円

単位：円

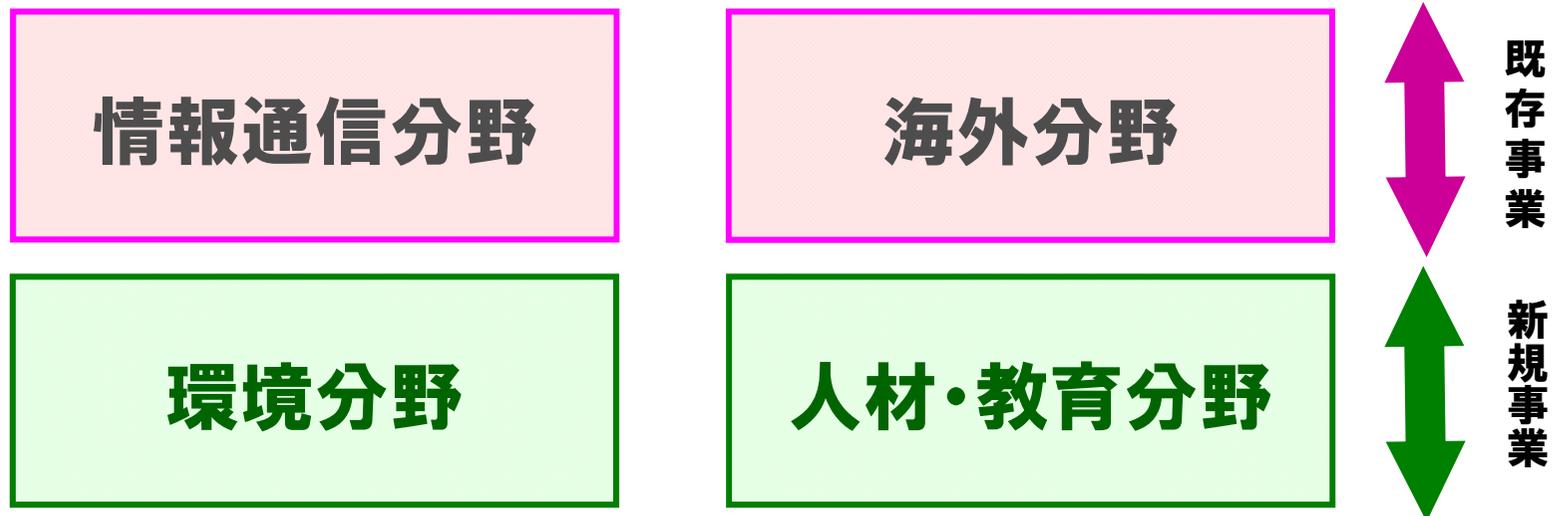
フォーバルグループの成長戦略

FORVAL ビジネスモデルの転換前後の業績推移



企業経営そのものを支援し、
中小・中堅企業の利益に貢献する
「次世代経営コンサルタント」 集団

4分野



3手法



次世代経営コンサルティングサービス

中小・中堅企業の利益に貢献する

情報通信分野(国内)

海外分野



基本サービス

- 経営のよろず相談サービス
- 定期訪問 & 通信技術を使った遠隔サポート
- パソコン・ネットワーク状態監視サービス
- 各種アプリケーションの問合せサービス
- お客様専用サイト

各種メニュー

経営コンサルティング系

個人情報管理系

パソコン・ネットワーク系

スマートフォン・パッド系

ホームページ系

電話系

コピー系

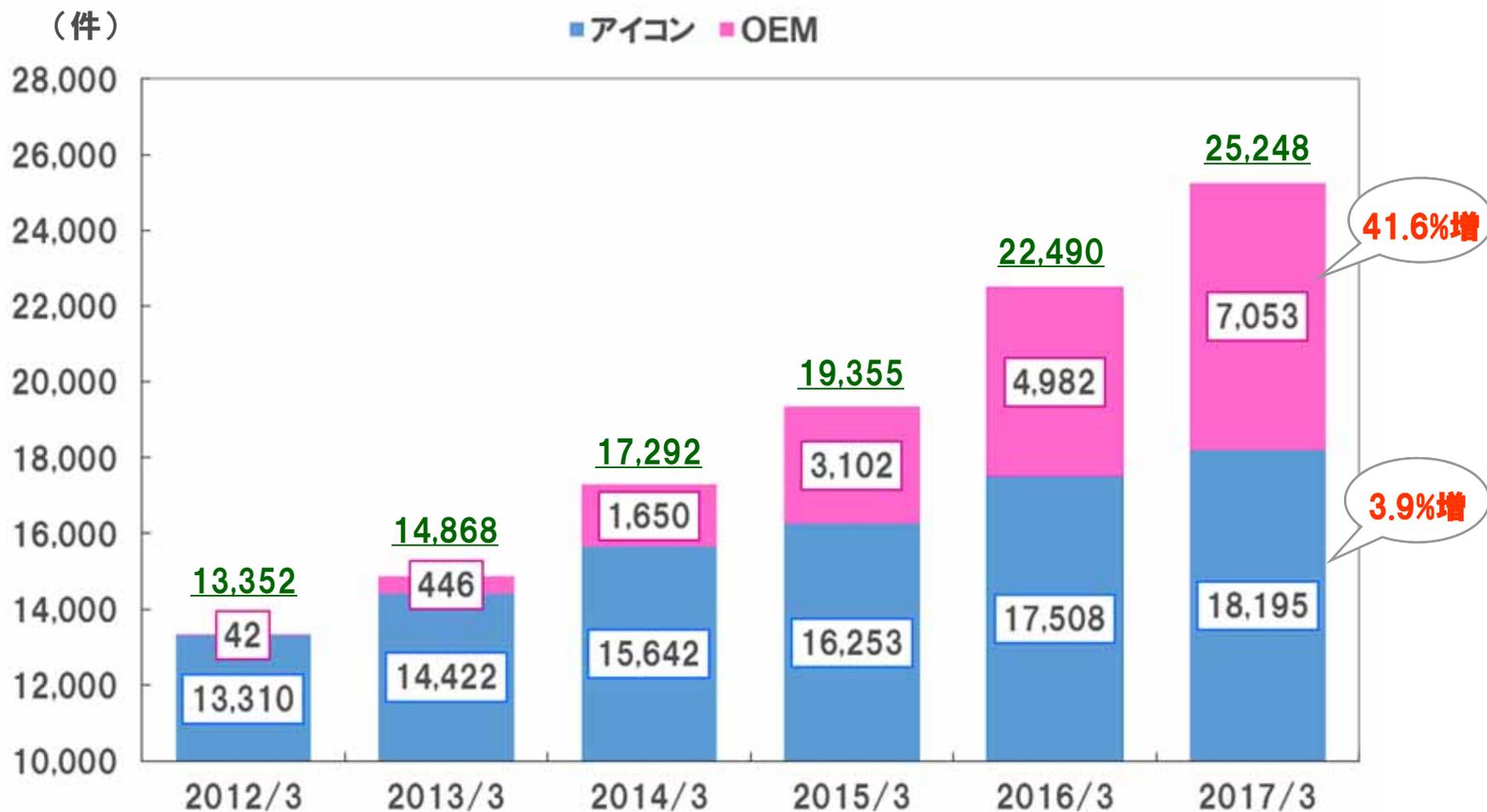
OEMによるアイコンサービスの拡大と販売チャネルの強化

差別化された
新しいビジネスモデルの
ノウハウ自体を提供

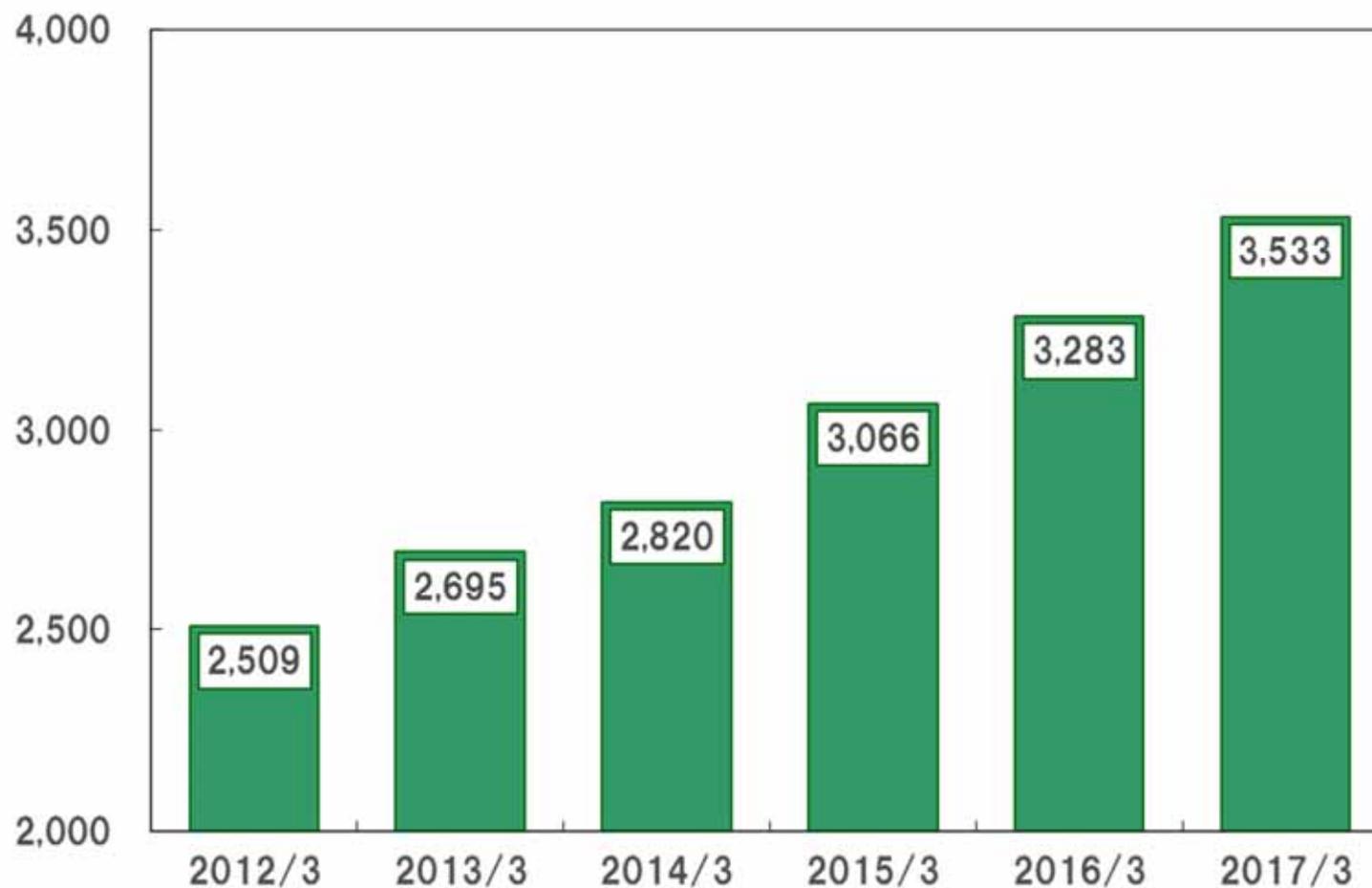


アイコンサービスの拡大
&
販売チャネルの強化

前期比12.3%増と順調に推移



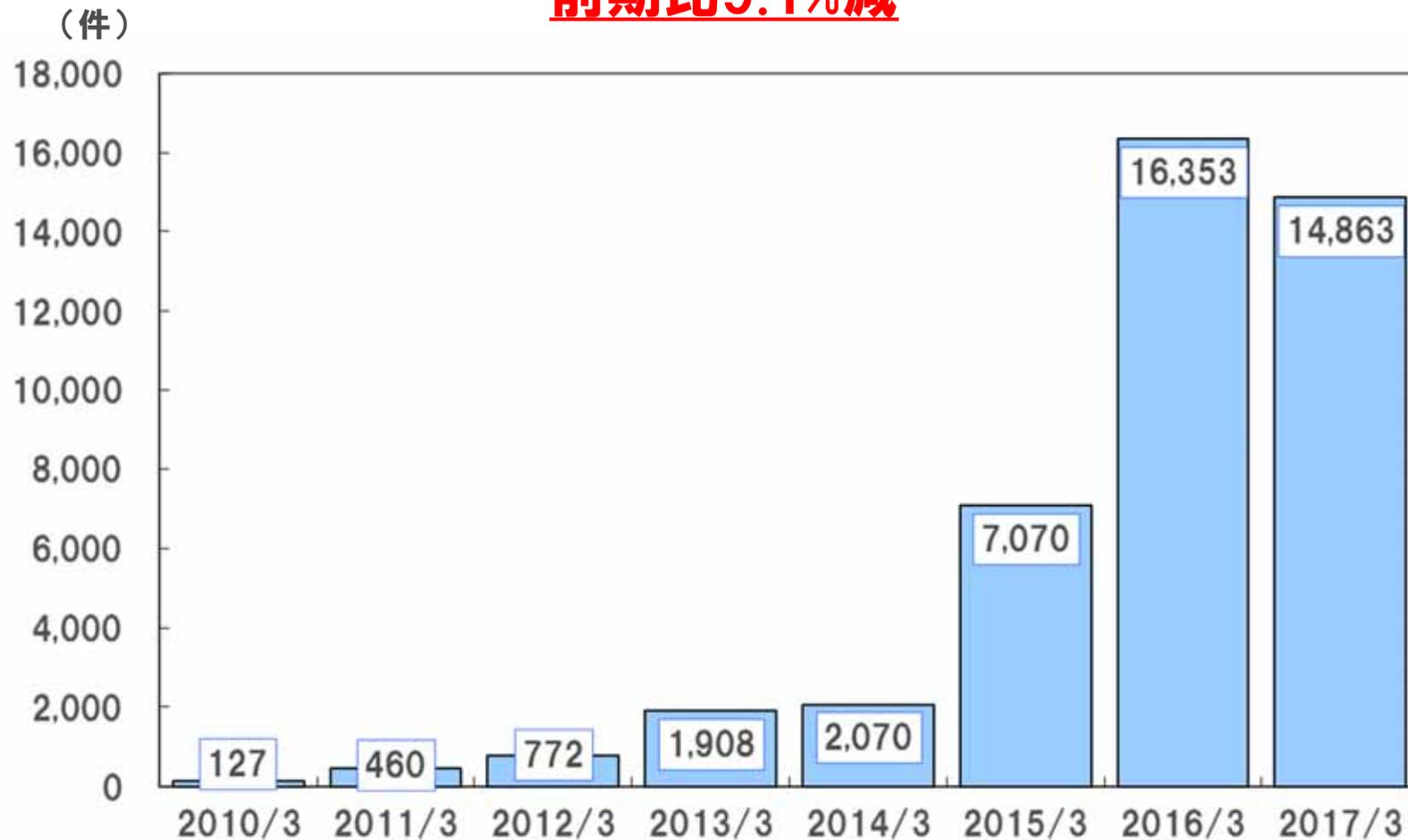
前期比7.6%増と順調に推移



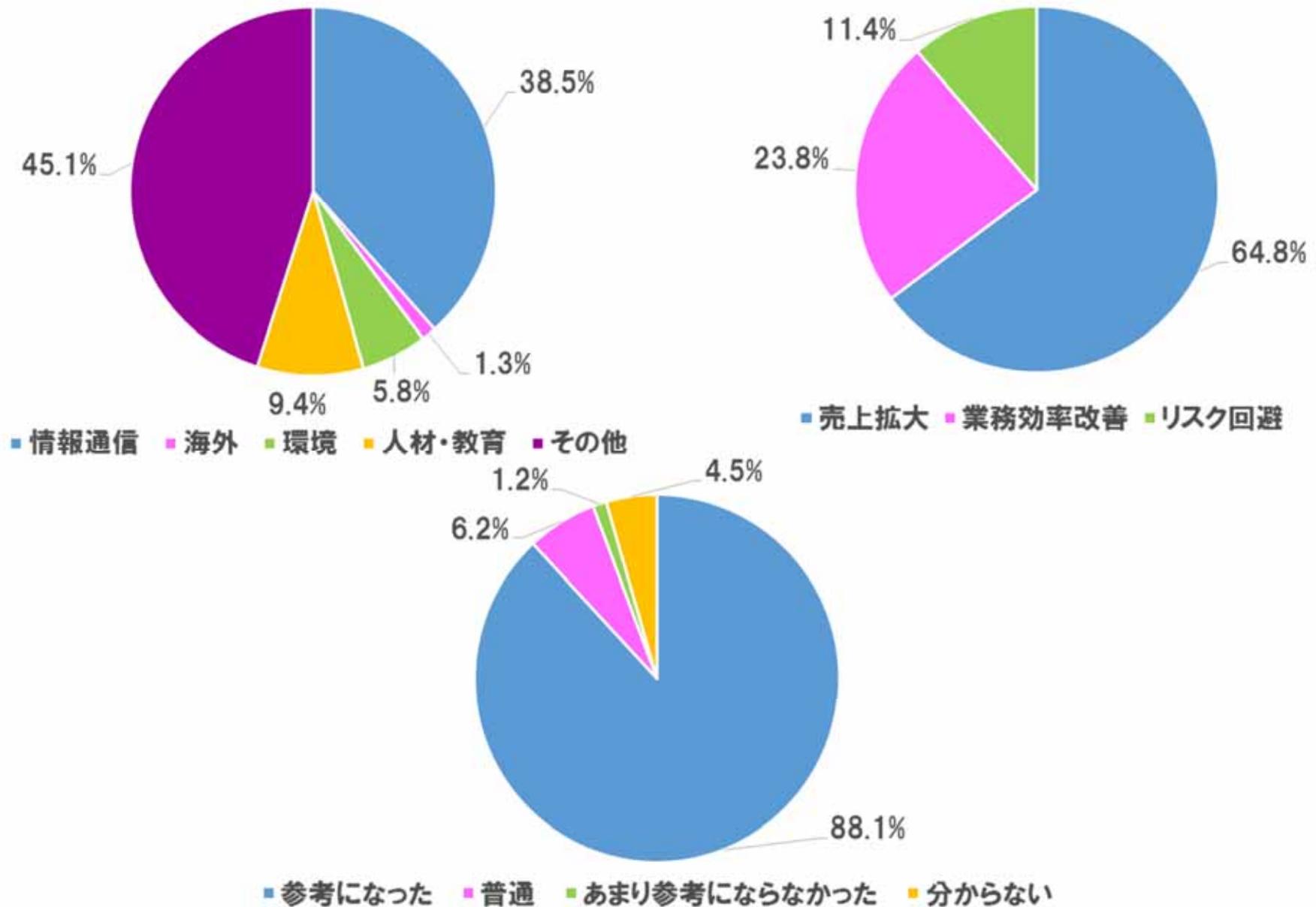
単位:百万円

今期から相談の質を追求

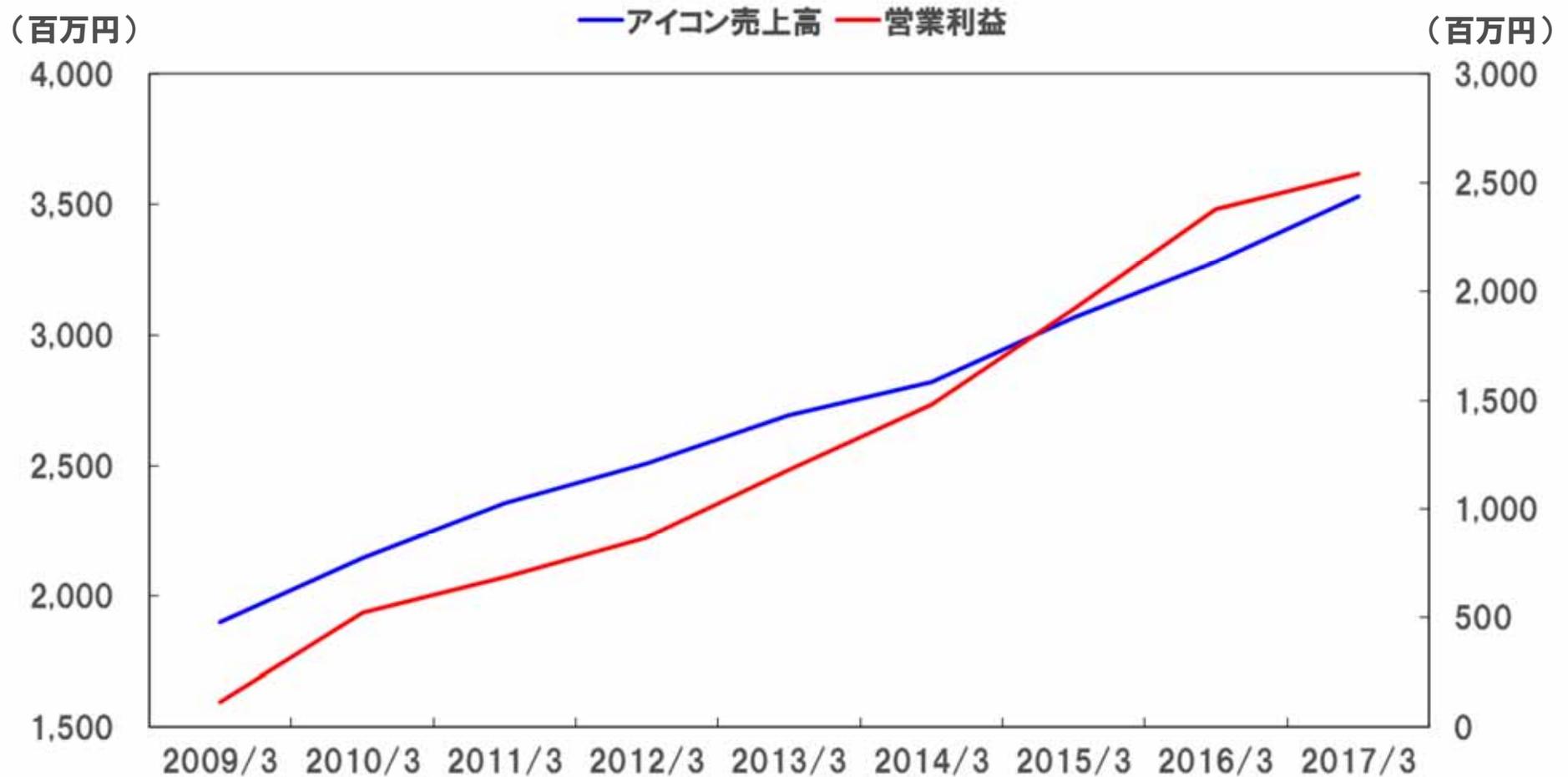
前期比9.1%減



FORVAL よろず経営相談の相談内容と満足度

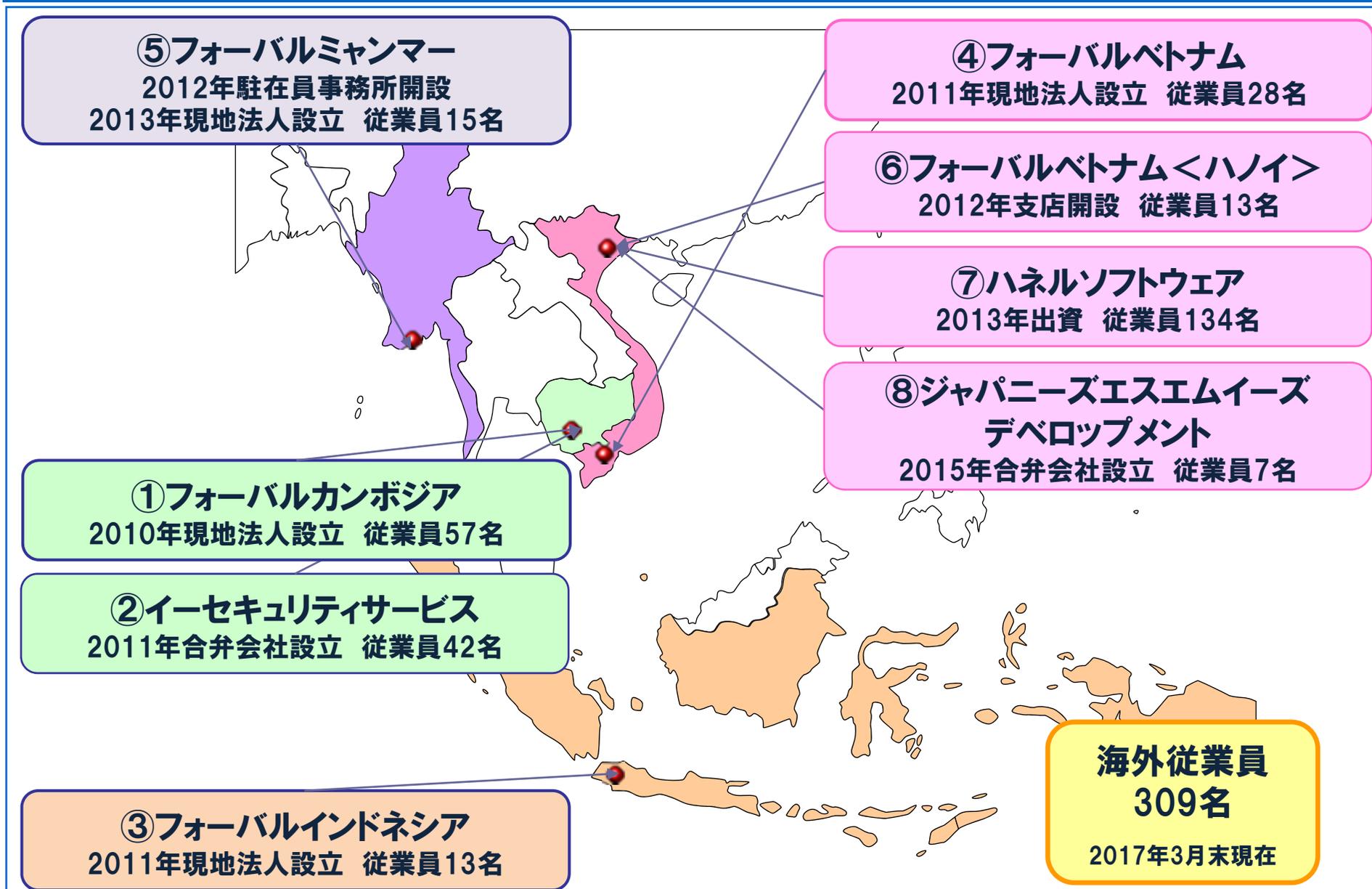


高い相関関係



海外事業の取り組みと今後の見通し

FORVAL ASEAN進出支援体制の確立



トータルサポート

OA・NW
ITサポート

- OA・NWのIT環境サポート
- アイコンサービス

stage

進出後

バック
オフィス
業務支援

- 会社規定・就業規則等作成支援
- 経理・総務等業務支援
- セールスプロモーション支援

人材支援

- 現地スタッフ教育・研修支援
- 現地スタッフ採用支援

現地法人
設立支援

- 工場用地・オフィス・駐在員住居選定支援
- 法人登記・各種ライセンス申請登録支援
- 内装・什器・OA・NW環境構築支援

stage

進出前

海外進出
FS支援

- 現地視察ツアー同行
- 現地調査・マーケティングリサーチ
- レンタルオフィス提供

情報提供

- セミナー
- 紙面 & WEBの活用

G-icon B (Before)

1 Type S	進出までの総合準備支援 ワンストップサポートで進出準備を支援
2 Type OS	事業計画の設計、カウンターパートとの交渉、 契約締結までをサポート
3 Type R	総合調査支援 調査計画に基づき専属スタッフが調査支援を実施

G-icon O (Outsource)

1 Type M	生産委託先開拓 豊富な現地ネットワークからパートナー選定を支援
2 Type D	販売パートナー開拓 商品を拡販できるベストパートナー選定を支援
3 Type RP	JICA等公的機関による海外展開支援の公募参加 を目的とした事業可能性調査

FORVAL ベトナムのレンタル工場①

ベトナムレンタル工場 初！
JICA (国際協力機構) からの海外投融資を利用した開発



埼玉県がJSCに出資



県内製造業のベトナム進出を支援

NNA.ASIA

※5月11日付け【The Daily NNAベトナム版】

ベトナム 2016/05/11 (水曜日)

フォーバルのレンタル工場、7棟追加へ [建設]

フォーバル（東京都渋谷区）などが運営する南部ドンナイ省の日系中小企業向けレンタル工場が、2018年末までをめぐり現時点で建設済みの3棟に加えて7棟を増設することが分かった。入居企業は現在の22社から、さらに100社程度が進出可能となり、フォーバルは日本の地方自治体や地方銀行などと連携して誘致を図る。

レンタル工場はニョンチャック第3工業団地内にある。フォーバルは昨年、ニョンチャック第3の事業主である国営ティンギア社と特別目的会社（SPC）「Japanese SMEs Development（日系中小企業開発社）」を設立し、運営を開始した。SPCには国際協力機構（JICA）が海外投融資事業の一環として約30億円を融資するほか、埼玉県も約1,000万円を出資する。日本の地方自治体が海外の工業団地運営会社に出資する初のケースとなる。

同レンタル工場は288平方メートルの区画から用意しており、ライセンス取得の代行なども手掛ける。また日本人1人が常駐する。入居企業の増加に備えて年内にも管理棟を建設し、ジャパンデスクを設置するほか、日本食レストランも誘致する予定だ。

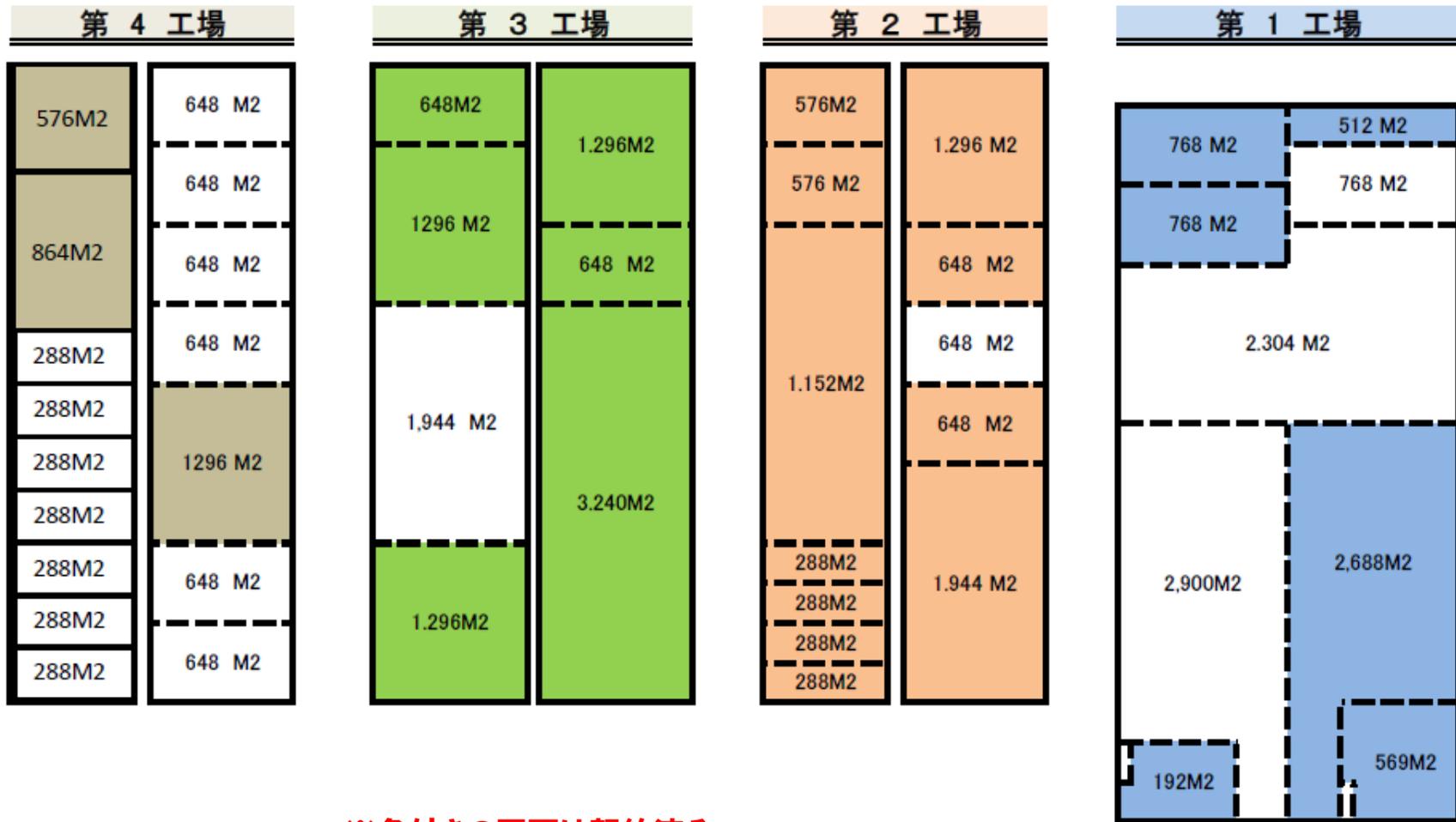
「この記事は、共同通信の子会社でアジアの経済ニュースを配信する株式会社エヌ・エヌ・エー（NNA）<http://www.nna.jp/> から提供を受けました。」



フォーバルなどが運営する中小企業向けレンタル工場＝10日、ドンナイ省

第1～第4工場まで建設済み、第10工場まで建設予定！





※色付きの区画は契約済み

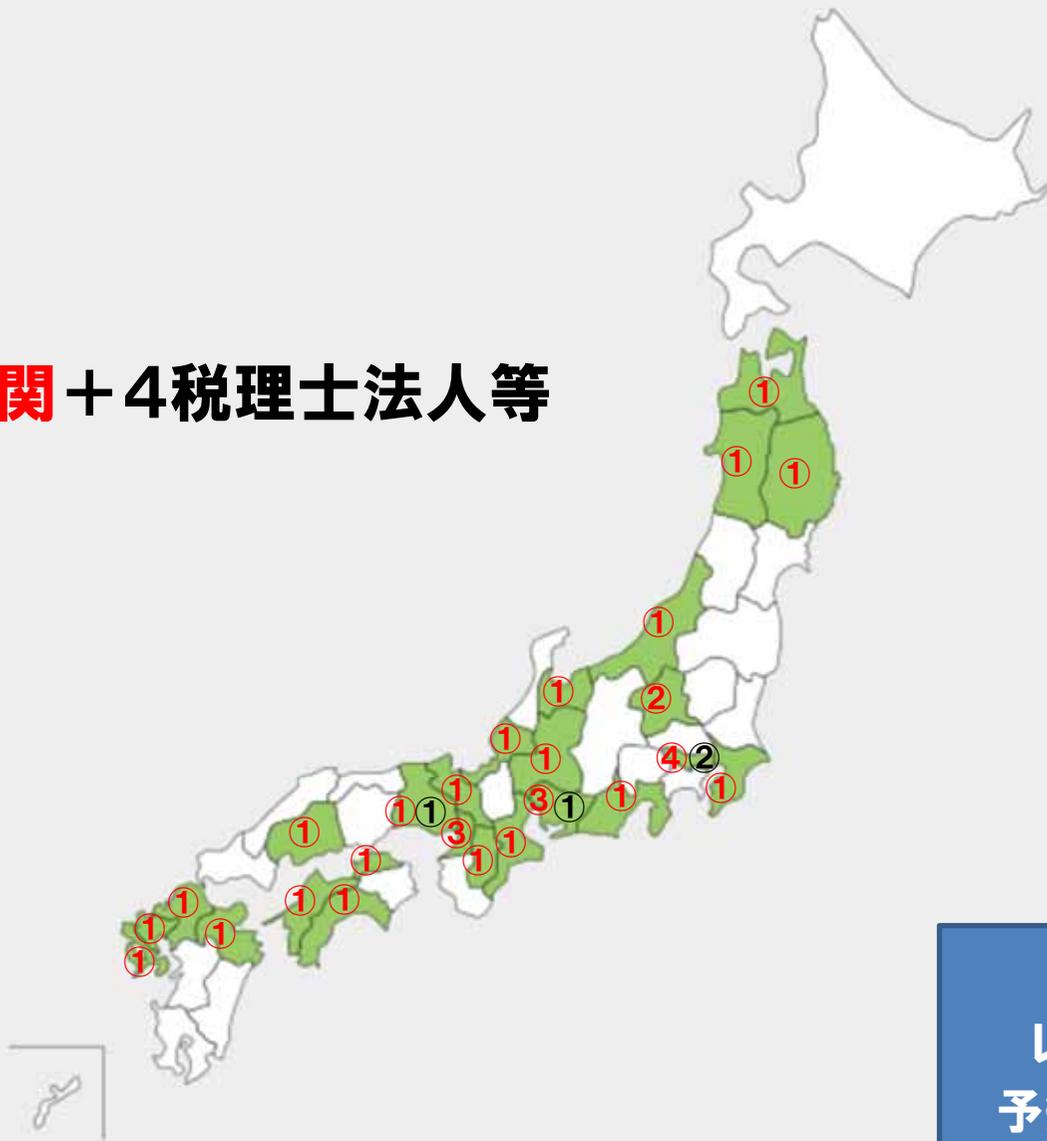
FORVAL ベトナムのレンタル工場⑤ ジャパンデスク(管理棟)



6月末完成予定



33金融機関 + 4税理士法人等



ベトナム
レンタル工場
予約枠100区画

FORVAL インドネシアのレンタル工場①



FORVAL インドネシアのレンタル工場② 管理棟

JAPANESE SMEs CENTER LIPPO
CIKARANG



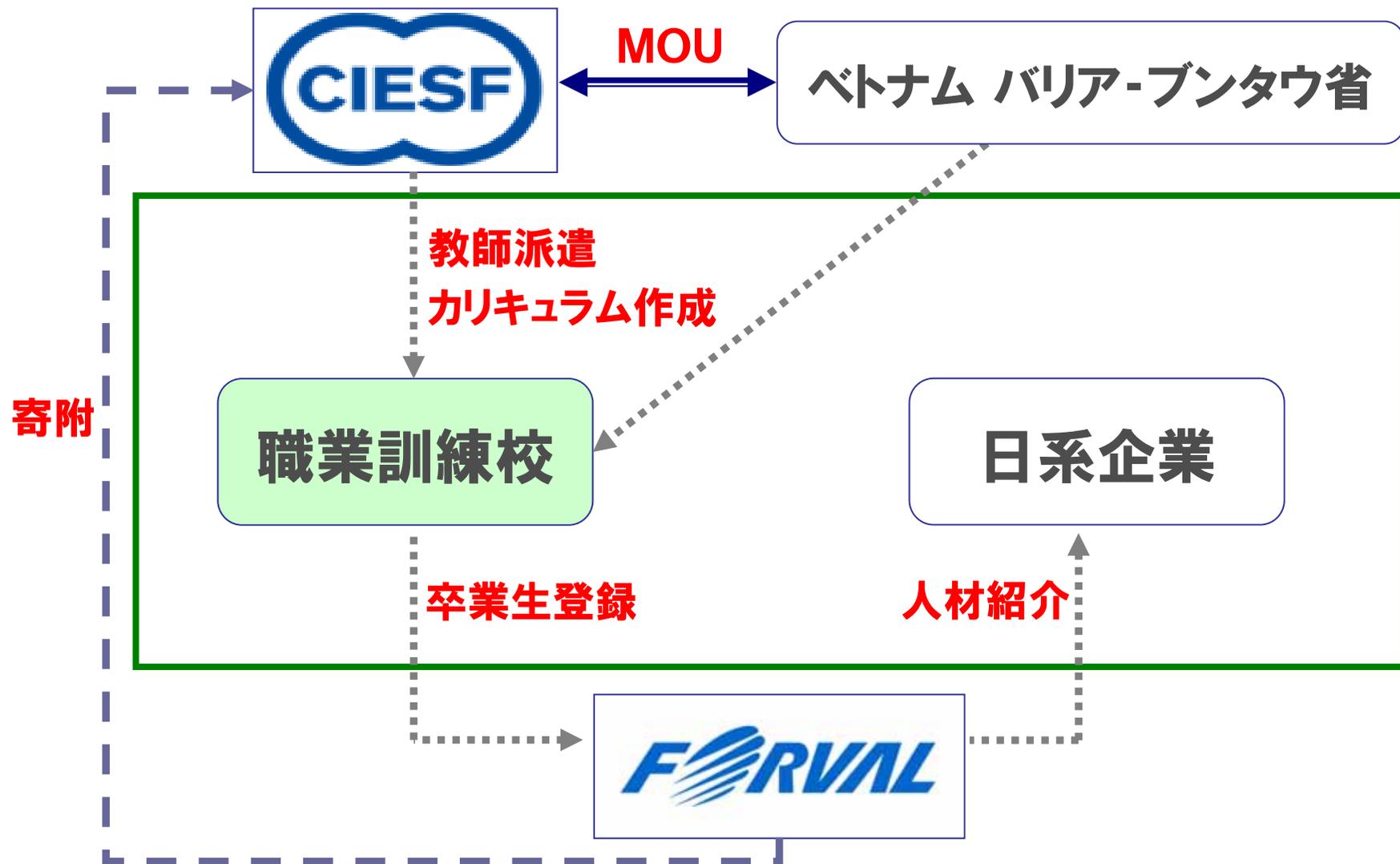
【共有施設】

- 日本語対応サポートデスク(常駐)
- 会議室×5
- 応接室×2
- 来賓用お手洗い×2
- 礼拝スペース×2
- 軽食スペース

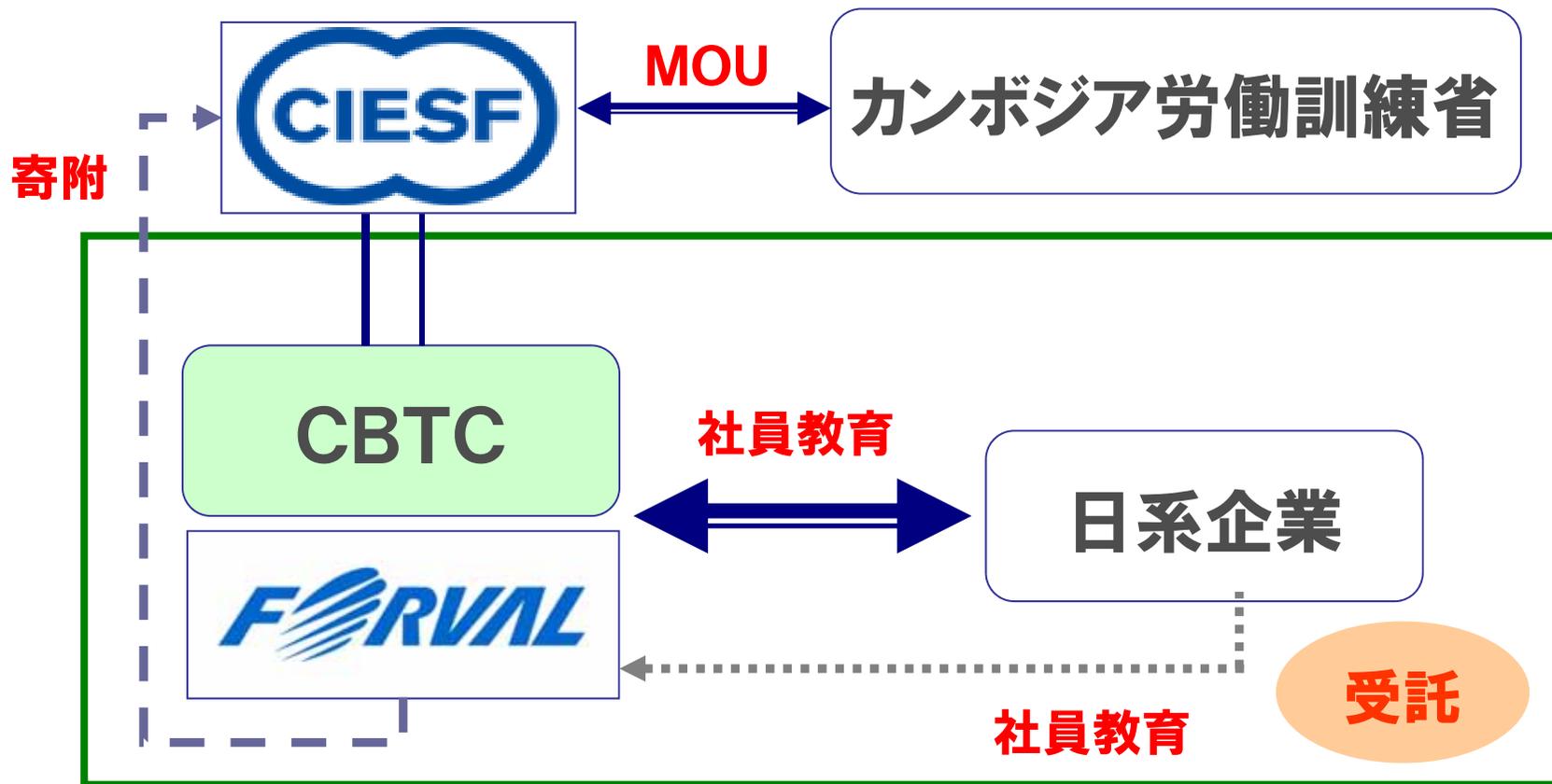
FORVAL 自治体との連携(受託実績)

自治体	年度	事業名	対象
茨城県	2016年	「ベトナム現地情報収集・本県情報発信及び県産品販路拡大戦略策定等調査」	茨城県
茨城県	2016年	「県産品の輸出促進体制構築に係る民間との連携等調査」	茨城県
東京都	2014年	「アジア特別商談会」における出展企業への商談会企画・運營業務	東京都内企業
東京都	2016年	「アジア特別商談会」における出展企業への商談会企画・運營業務	東京都内企業
埼玉県	2012年	「埼玉県アセアンビジネスサポートデスク運營業務」2012年～2014年	埼玉県内企業
長崎県	2013年	「東南アジアビジネスサポートデスク運營業務」2013年～継続	長崎県内企業
長崎県	2015年	「ベトナム経済視察団商談会」運營業務	長崎県内企業
宮城県	2015年	「宮城県ベトナム等ビジネスアドバイザーデスク運營業務」2014年～継続	宮城県内企業
福井県	2015年	「ふくいバンコクビジネスセンターアドバイザー業務」2014年～継続	福井県内企業
埼玉県	2013年	「埼玉県ベトナムネットワーク交流会」運營業務	埼玉県内企業
愛媛県	2016年	「愛媛県ものづくり企業海外販路開拓強化事業(インドネシア・ミャンマー)」	愛媛県内企業
神戸市	2016年	「神戸市ベトナム海外商談会マッチング事業」	神戸市内企業
松原市	2016年	「松原市輸出業務支援事業(商社マッチング事業)」	松原市内企業

『人材育成による地域社会への貢献』



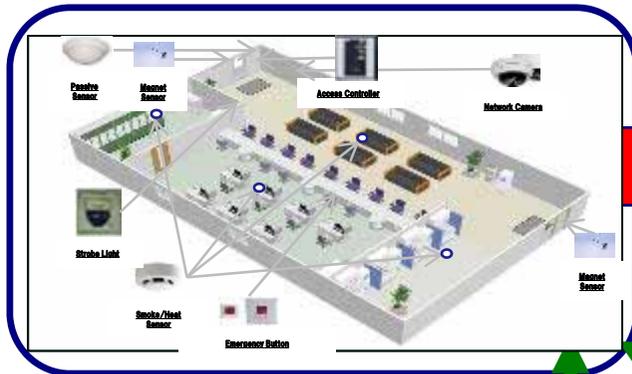
『日系企業の社員研修の受託』



社員研修の実績	カンボジア	延べ 109社	延べ1,273名
	ベトナム	延べ 84社	延べ1,850名
	インドネシア	延べ 282社	延べ1,182名
	ミャンマー	延べ 142社	延べ2,418名

合計
延べ617社
延べ6,723名

FORVAL E SECURITY SERVICESのセキュリティシステム概要



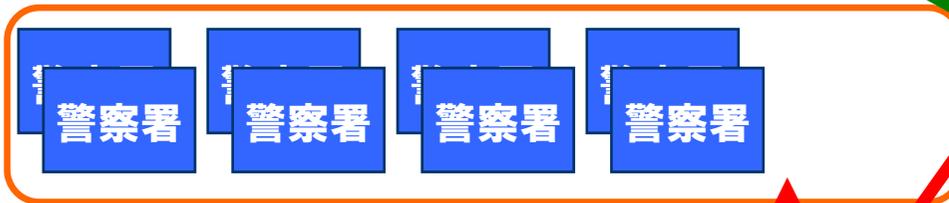
異常信号

ESS 中央管制センター

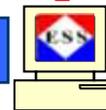


急行部隊

警察



カンボジア内務省国家警察本部



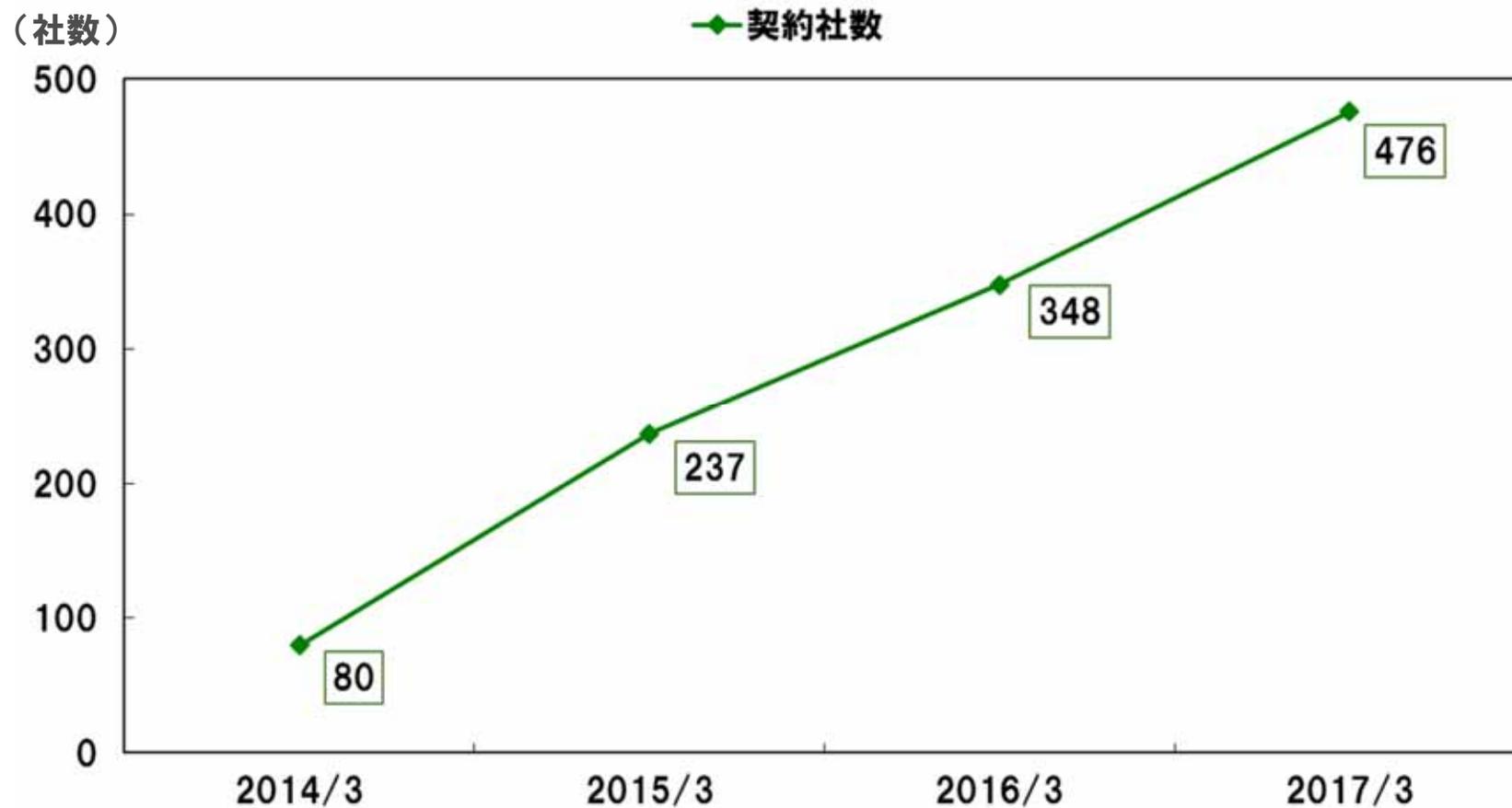
緊急連絡

ESS 急行部隊

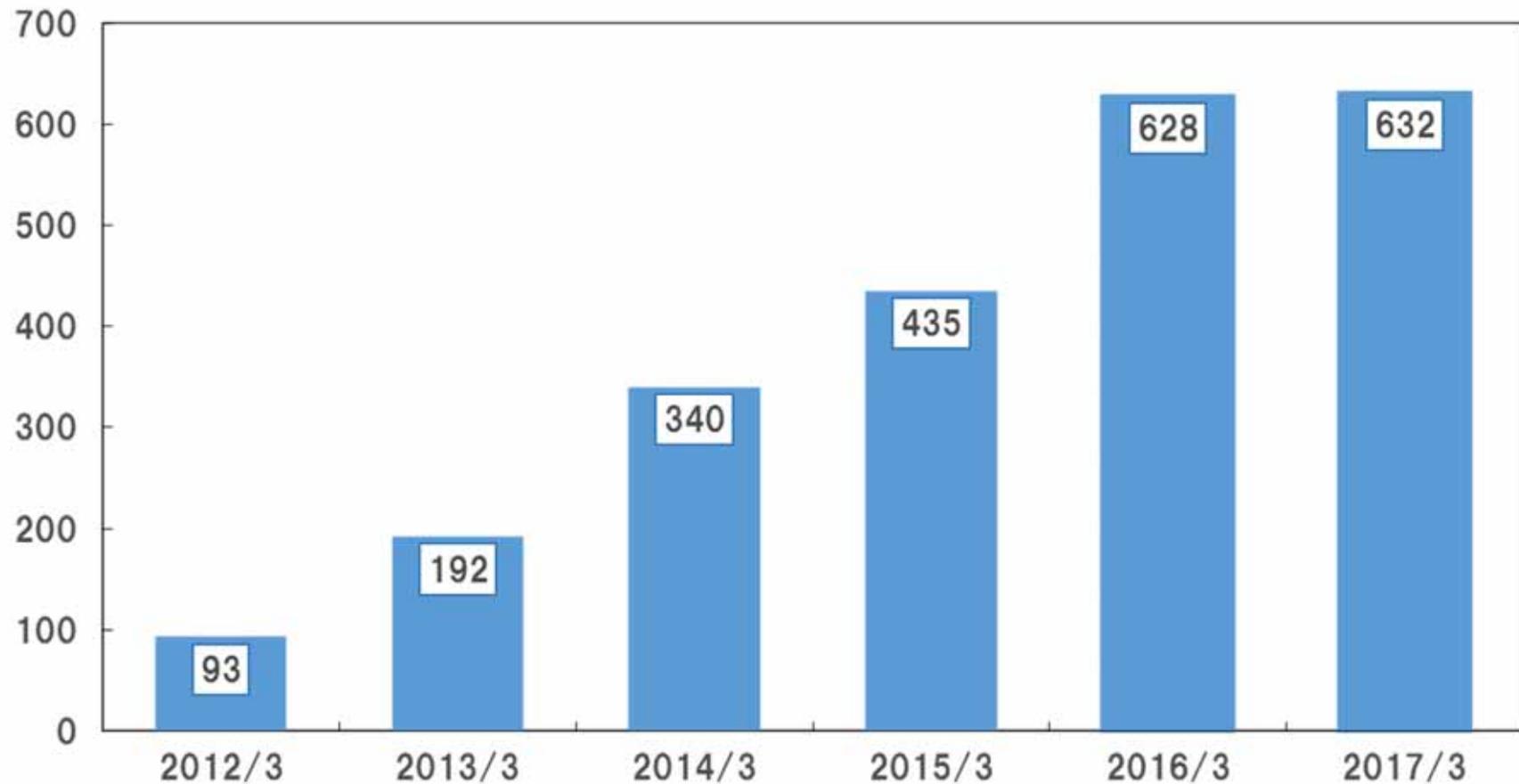


カンボジア内務省
国家警察本部と
10年間のMOU締結

前期比36.8%増



前期比0.5%増



※ 海外関連の売上で連結売上高には取り込んでいない数値も含まれます

単位:百万円

将来の見通しに関する記述についてのご注意

本プレゼンテーション資料に掲載されている弊社の計画、目標、方針、戦略、判断、財務的予測、将来の数値・金額などのうち、歴史的事実でないものは弊社に関わる将来の見通しに関する記述であり、弊社の経営陣が現在入手可能な情報に基づく予測、想定、認識、評価、判断、前提(仮定)等を基礎としています。これらの実現については、様々な要素の潜在的リスクや不確実性を含んでいます。

なお、本プレゼンテーション資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断において行われますようお願い申し上げます。